

第3章 高齢者に対する介護サービスなどの現状と評価

1. 介護サービス

(1) 介護サービス利用者数

サービス利用者数は、平成18・19年度は計画値に対して91.8%、90.2%にとどまりました。

また、認定者に対するサービス利用者の割合である受給率は、ほぼ計画どおりですが、第1号被保険者数に対する利用率は、認定者数の減少に伴い計画値を下回っています。

【第3期介護保険事業支援計画との比較】

[単位：人、%]

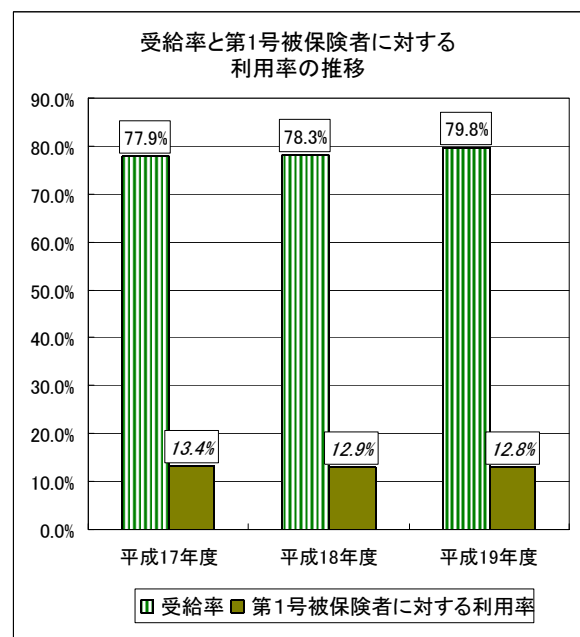
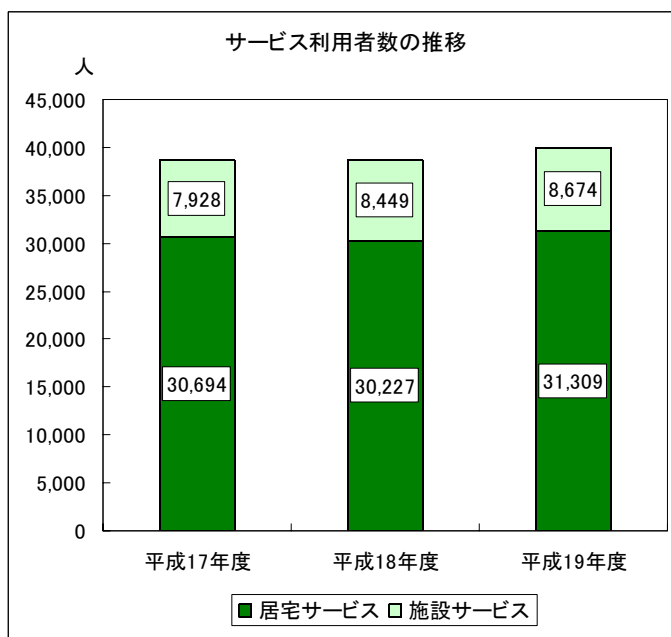
	平成17年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
居宅サービス利用者数	30,694	31,647	30,227	32,793	31,309	33,854
施設サービス利用者数	7,928	10,463	8,449	11,519	8,674	12,063
利用者合計	38,622	42,110	38,676	44,312	39,983	45,917
要介護認定者数	49,590	53,659	49,407	56,359	50,106	58,232
受給率（利用者合計／要介護認定者数）	77.9%	78.5%	78.3%	78.6%	79.8%	90.7%
（参考）居宅サービスの比率	79.5%	75.2%	78.2%	74.0%	78.3%	73.7%

出典：平成17～19年度実績値 --- 介護保険事業状況報告（各年度3月利用状況）

※ 受給率とは、要介護（要支援）認定者に対する介護サービスの利用者割合。

※ 居宅サービスの比率とは、サービス利用者に対する居宅サービス利用者の割合。

■ 実績の推移



(2) 居宅サービスの状況

【平成19年度介護サービス利用実態調査の調査結果の概要と分析】

1 回答者の状況

- 今回のアンケート調査の回答者596名の「性別」、「年齢」、「世帯構成」は下表のとおりである。
- 年齢では、75歳以上の人456人で全体の7割を超えており、また世帯構成では、単身世帯・高齢者夫婦（65歳以上夫婦のみ）世帯が276件で全体の約5割を占めている。

[表1] 回答者の状況（性別・年齢・世帯状況）

設問	回答集計結果		
	選択肢	件数	占有率
問1 性別	男	123	20.6%
	女	418	70.1%
	無回答	55	9.2%
	合計（サンプル数）	596	100.0%
	備考	8割弱が女性の回答者であった。	
問2 年齢	64歳以下	5	0.8%
	65歳～69歳	20	3.4%
	70歳～74歳	64	10.7%
	75歳～79歳	98	16.4%
	80歳～84歳	161	27.0%
	85歳以上	197	33.1%
	無回答	51	8.6%
	合計（サンプル数）	596	100.0%
備考	75歳以上の高齢者が全体の8割を超える。		
問3 世帯構成	単身世帯	178	29.9%
	40～65未満夫婦のみ	4	0.7%
	65歳以上夫婦のみ	98	16.4%
	一方が65歳以上の夫婦のみ	9	1.5%
	本人または本人夫婦とその子ども	126	21.1%
	本人または本人夫婦+子ども+孫	91	15.3%
	本人または本人夫婦+親	2	0.3%
	その他	28	4.7%
	無回答	60	10.1%
	合計（サンプル数）	596	100.0%
備考	子どもや孫との同居が約4割である一方、単身世帯は約3割である。		

2 訪問調査及び介護予防ケアプラン等について

- 訪問調査の印象については、「良かった」「まあまあ良かった」が8割以上で好印象であったが、認定結果については、「予想どおり」が過半数を占める一方で、「予想より軽い」も4割を占めている。

[表2] 訪問調査・要介護認定

設問	回答集計結果		
	選択肢	件数	占有率
問4 訪問調査を受けた印象	良かった	300	54.0%
	まあまあ良かった	170	30.6%
	どちらとも言えない	48	8.6%
	あまり良くなかった	24	4.3%
	悪かった	6	1.1%
	おぼえていない	8	1.4%
	合計(サンプル数)	556	100.0%
備考	全体の8割以上で「良かった」「まあまあ良かった」であるが、「あまり良くなかった」「悪かった」も少し見受けられる。		
問5 「あまり良くなかった」、 「悪かった」理由 ※ 複数回答	事務的であった	31	36.0%
	本人や家族の話を十分聞いてもらえなかった	17	19.8%
	調査に対する十分な説明がなかった	7	8.1%
	質問が多く、時間がかかり疲れた	7	8.1%
	調査時間が短かった	6	7.0%
	不愉快な態度、質問があった	9	10.5%
	希望した日時に調査してもらえなかった	3	3.5%
	約束した時間に来なかった	1	1.2%
	その他	5	5.8%
	合計(サンプル数)	86	100.0%
備考	「事務的であった」が多数を占め、「話を十分に聞いてもらえない」が続き、合わせて5割を超える。		
問6 要介護度	要支援1	223	43.5%
	要支援2	290	56.5%
	合計(サンプル数)	513	100.0%
備考			
問7 認定結果	予想どおりの結果	274	56.1%
	予想より重い結果	20	4.1%
	予想より軽い結果	194	39.8%
	合計(サンプル数)	488	100.0%
備考	「予想どおり」が過半数を占めた一方、「予想より軽い」も4割を占めている。		

- 地域包括支援センター職員の対応については、ほぼ7～8割で好意的に受け入れられているが、「緊急時に対応してくれたか」の設問には、「はい」が過半数となった一方で、「どちらとも言えない」が3割を超えている。

[表3] 地域包括支援センター職員・介護予防ケアプラン

設問	回答集計結果		
	選択肢	件数	占有率
問8① サービス内容の説明は十分か 備考	はい	416	80.6%
	いいえ	23	4.5%
	どちらとも言えない	77	14.9%
	合計(サンプル数)	516	100.0%
問8② サービス費用・利用限度額の説明は十分か 備考	はい	366	72.9%
	いいえ	43	8.6%
	どちらとも言えない	93	18.5%
	合計(サンプル数)	502	100.0%
問8③ プランに本人・家族の希望は入ったか 備考	はい	391	78.4%
	いいえ	44	8.8%
	どちらとも言えない	64	12.8%
	合計(サンプル数)	499	100.0%
問8④ サービス・事業者を自由選択できたか 備考	はい	370	76.6%
	いいえ	48	9.9%
	どちらとも言えない	65	13.5%
	合計(サンプル数)	483	100.0%
問8⑤ プラン作成後の連絡・調整は十分だったか 備考	はい	405	81.8%
	いいえ	28	5.7%
	どちらとも言えない	62	12.5%
	合計(サンプル数)	495	100.0%
問8⑥ 苦情・不満は十分聞いてくれたか 備考	はい	350	74.3%
	いいえ	37	7.9%
	どちらとも言えない	84	17.8%
	合計(サンプル数)	471	100.0%
問8⑦ プライバシーは守られていると感じたか 備考	はい	420	84.8%
	いいえ	6	1.2%
	どちらとも言えない	69	13.9%
	合計(サンプル数)	495	100.0%
問8⑧ かかりつけ医との連絡に配慮してくれたか 備考	はい	336	70.0%
	いいえ	41	8.5%
	どちらとも言えない	103	21.5%
	合計(サンプル数)	480	100.0%
問8⑨ 緊急時に対応してくれたか 備考	はい	217	58.0%
	いいえ	25	6.7%
	どちらとも言えない	132	35.3%
	合計(サンプル数)	374	100.0%

問8⑩ 体調や状態に配慮してくれたか	はい	363	78.6%
	いいえ	24	5.2%
	どちらとも言えない	75	16.2%
	合計（サンプル数）	462	100.0%
備考			

[表4] 介護予防ケアプラン

設問	回答集計結果		
	選択肢	件数	占有率
問9 ケアプラン作成者への満足度	満足	218	40.4%
	まあ満足	156	28.9%
	普通	134	24.9%
	やや不満	24	4.5%
	不満	7	1.3%
	サンプル数	539	100.0%
備考			

3 利用しているサービスや利用希望について

介護予防サービス（新予防給付）の創設については、知っていた人と知らなかった人との割合がほぼ同程度で、知っていた人の方がやや多かった。

ただ、取り組み目標を持ってサービスを利用している人が6割を超え、そのうちの8割近くの人が自分の体の状態が「改善した」と感じている。

[表5] 介護予防サービス

設問	回答集計結果		
	選択肢	件数	占有率
問10 介護予防サービスの創設	知っていた	249	41.8%
	知らなかった	206	34.6%
	無回答	141	23.7%
	合計（サンプル数）	596	100.0%
備考			
問11 取り組み目標の有無	目標を持っている	366	61.4%
	目標を持っていない	43	7.2%
	どちらとも言えない	93	15.6%
	無回答	94	15.8%
	合計（サンプル数）	596	100.0%
備考			
問12 サービス利用後の心身の状況	改善した	391	65.6%
	改善しなかった	44	7.4%
	どちらとも言えない	64	10.7%
	無回答	97	16.3%
	合計（サンプル数）	596	100.0%
備考			

4 サービス利用及び利用希望について

サービス利用者数の内訳では、① 介護予防訪問介護（224人）、次いで⑥ 介護防通所介護（211人）で全体の約2/3を占めており、またサービスごとの満足度では、多くのサービスで「満足」「やや満足」が過半数を占めている状況である。

[表6] サービスごとの利用者数、満足度

サービスの種類	利用者数	満足度				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満
① 介護予防訪問介護	224	90	31	75	9	8
② 介護予防訪問入浴介護	18	3	1	9	1	1
③ 介護予防訪問看護	18	6	1	8	0	1
④ 介護予防訪問リハビリテーション	21	7	3	3	2	0
⑤ 介護予防居宅療養管理指導	11	2	1	5	0	0
⑥ 介護予防通所介護	211	113	34	32	8	4
⑦ 介護予防通所リハビリテーション	67	23	10	20	2	3
⑧ 介護予防短期入所生活介護	17	2	3	3	1	0
⑨ 介護予防短期入所療養介護	7	2	1	0	1	0
⑩ 介護予防特定施設入居者生活介護	9	5	0	1	2	0
⑪ 介護予防福祉用具貸与	64	38	6	16	2	1
⑫ 介護予防認知症対応型通所介護	9	4	0	2	0	0
⑬ 介護予防小規模多機能型居宅介護	1	0	0	0	0	0
⑭ 介護予防認知症対応型共同生活介護	2	1	0	0	0	0
計	679	296	91	174	28	18

① 介護予防サービス

介護予防サービスについては、ほとんどのサービスで計画値を下回っています。これは、要支援認定者数が計画値と実績値で差があるためと考えられます。

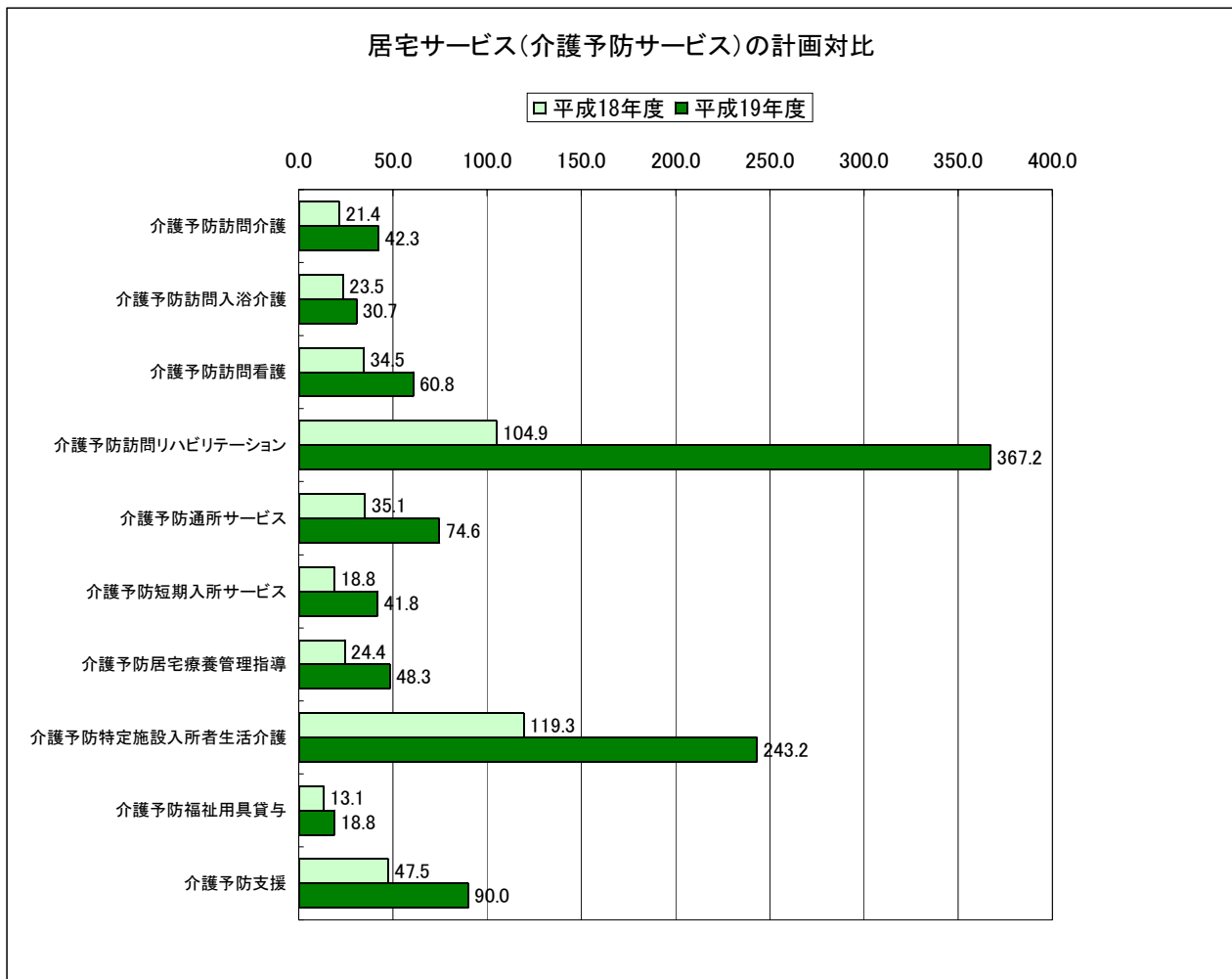
【第3期介護保険事業支援計画との比較】

サービスの種類	(単位)	平成17年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
介護予防訪問介護	(回/年)	-	790,220	169,479	886,521	375,103	929,614
介護予防訪問入浴介護	(回/年)	-	430	101	502	154	494
介護予防訪問看護	(回/年)	-	22,863	7,893	26,191	15,927	28,062
介護予防訪問リハビリテーション	(回/年)	-	963	1,010	1,113	4,087	1,166
介護予防通所サービス	(回/年)	-	324,019	113,641	366,989	273,871	393,402
介護予防短期入所サービス	(回/年)	-	20,103	3,778	22,920	9,573	24,865
介護予防居宅療養管理指導	(人)	-	364	89	422	204	444
介護予防特定施設入所者生活介護	(千円)	-	429,348	56,104	493,544	92,681	528,440
介護予防福祉用具貸与	(人)	-	113	135	118	287	123
介護予防支援	(人)	-	8,469	4,020	9,470	8,521	10,262

※ 介護予防サービスは平成18年度より創設されたため、平成17年度は空欄としている。

出典：奈良県国保連合会審査データ

■ 対計画比較（平成18・19年度の計画値を100とした場合の実績値）



② 介護サービス

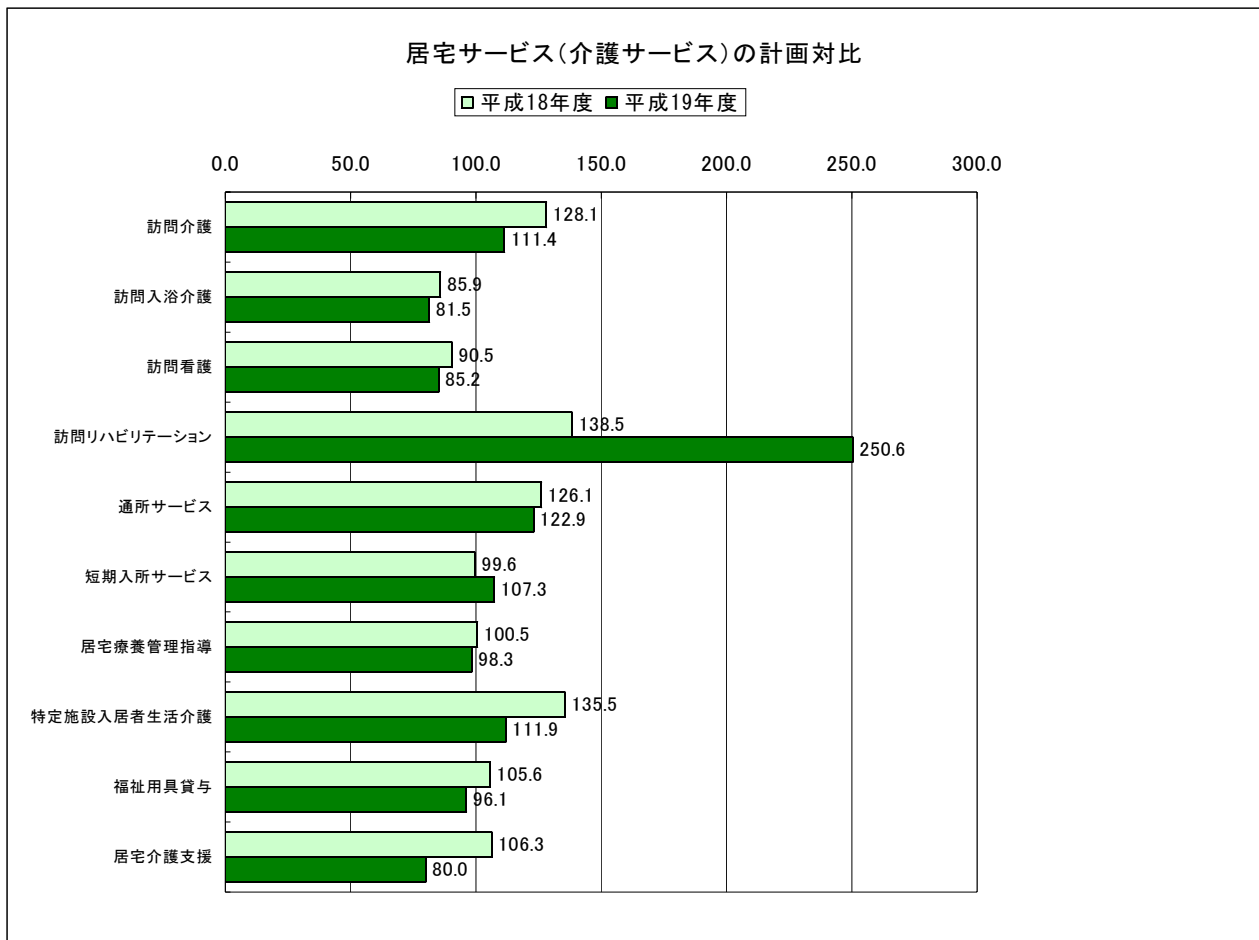
各サービスともほぼ計画値に近い実績となっています。特に、訪問介護や通所サービスは計画値を上回っています。一方、訪問入浴介護や訪問看護は兩年度とも計画値を下回っています。

【第3期介護保険事業支援計画との比較】

サービスの種類	(単位)	平成17年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
訪問介護	(回/年)	2,206,563	2,113,666	2,708,494	2,062,584	2,298,175	2,108,022
訪問入浴介護	(回/年)	41,564	47,228	40,579	47,081	38,350	47,931
訪問看護	(回/年)	222,208	234,310	211,939	232,396	197,923	238,412
訪問リハビリテーション	(回/年)	10,025	9,746	13,495	9,404	23,569	9,452
通所サービス	(回/年)	1,301,532	997,740	1,258,363	987,368	1,213,866	1,017,602
短期入所サービス	(回/年)	304,851	317,422	316,308	318,255	341,376	331,791
居宅療養管理指導	(人)	2,609	2,178	2,190	2,136	2,099	2,216
特定施設入居者生活介護	(人)	462	543	736	732	819	785
福祉用具貸与	(千円)	2,012,904	1,698,587	1,794,054	1,684,751	1,619,467	1,739,193
居宅介護支援	(人)	29,140	23,282	24,744	24,670	19,729	26,369

出典：奈良県国保連合会審査データ

■ 対計画比較（平成18・19年度の計画値を100とした場合の実績値）



(3) 施設サービスの状況

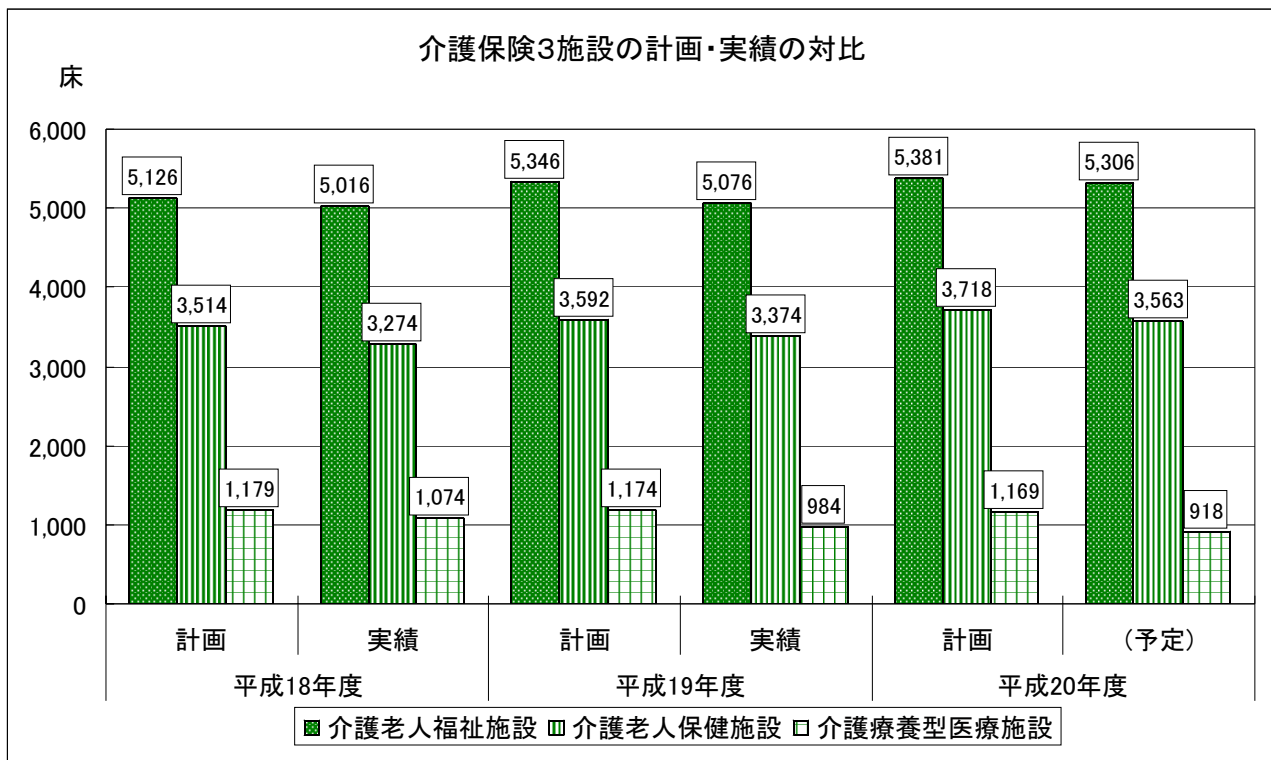
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）及び介護老人保健施設については、ほぼ計画どおり整備が進んでいます。介護療養型医療施設については、平成23年度末の制度廃止を控え、計画値に対して、平成19年度で83.8%となっています。

【第3期介護保険事業支援計画との比較】

[実績値：各年度3月末時点／単位：床]

サービスの種類	平成17年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	(予定)
介護老人福祉施設	4,696	5,126	5,016	5,346	5,076	5,381	5,306
介護老人保健施設	2,784	3,514	3,274	3,592	3,374	3,718	3,563
介護療養型医療施設	1,091	1,179	1,074	1,174	984	1,169	918
計	8,571	9,819	9,364	10,112	9,434	10,268	9,787

■ 対計画比較



(4) 地域密着型サービスの状況

地域密着型サービスについては、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）のみほぼ計画どおりですが、認知症対応型通所介護（認知症デイ）や小規模多機能型居宅介護は計画値を下回っています。

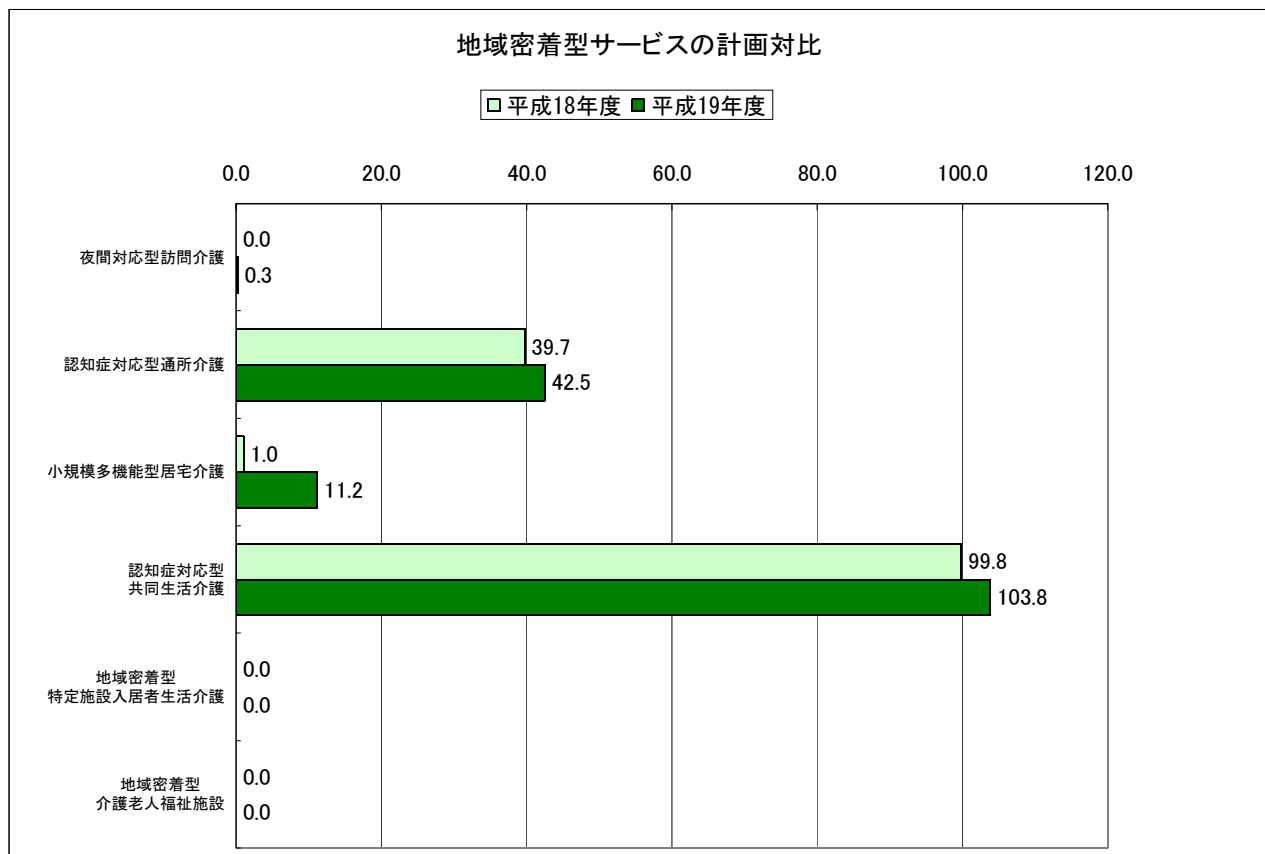
【第3期介護保険事業支援計画との比較】

サービスの種類	(単位)	平成18年度		平成19年度		平成20年度
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
夜間対応型訪問介護	(人)	302	0	385	1	390
認知症対応型通所介護	(人)	511	203	573	244	618
小規模多機能型居宅介護	(人)	366	4	522	58	627
認知症対応型共同生活介護	(人)	972	970	1,067	1,108	1,142
地域密着型特定施設入居者生活介護	(人)	0	0	0	0	0
地域密着型介護老人福祉施設	(人)	0	0	17	0	76

※ 認知症対応型共同生活介護の平成18～20年度分には予防給付を含む。

出典：奈良県国保連合会審査データ

■ 対計画比較（平成18・19年度の計画値を100とした場合の実績値）



(5) 介護保険給付費の支給状況

介護給付費は制度創設以来、認定者数の伸びとともに増加し続けています。一方で、平成18年度の制度改正の後、認定者数及びサービス利用者数が計画値よりも減少していることに伴い、介護給付費は計画値に対して平成18年度 92.6%、平成19年度 91.4%となっています。

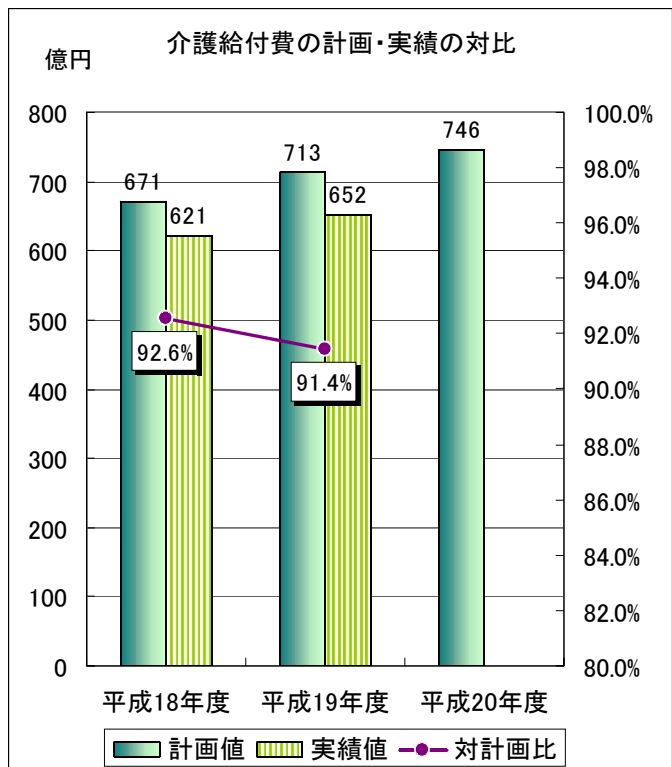
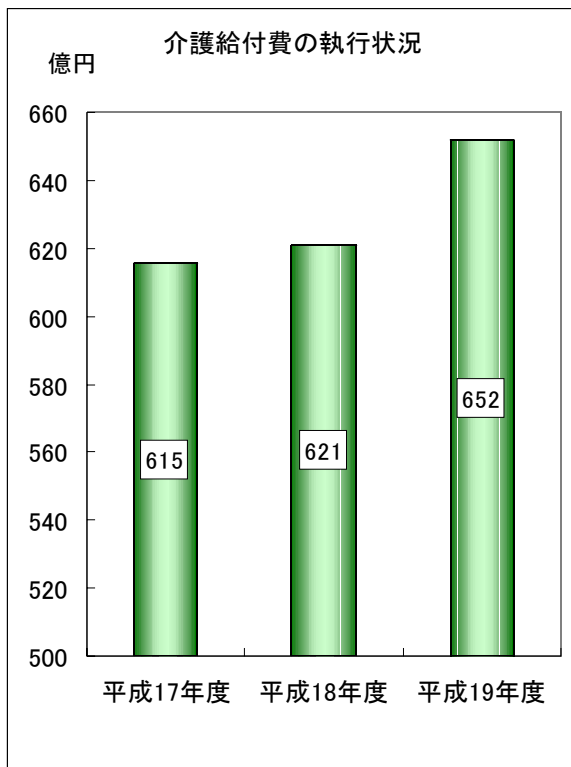
【第3期介護保険事業支援計画との比較】

[単位：千円]

区分	平成17年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
介護給付費 (標準給付費)	61,541,237	67,063,677	62,070,949	71,294,738	65,187,396	74,555,931
	月額	執行率	月額	執行率	月額	
	5,128,436	92.6%	5,172,579	91.4%	5,432,283	

出典：介護給付費負担金実績報告
ただし、平成19年度実績値は暫定値である。

■ 実績の推移



(6) 介護サービス施設・事業所数の状況

介護サービス施設・事業所数は、制度創設以来、増加し続けています。しかし、居宅サービスのうち訪問入浴介護・福祉用具貸与が平成19年度から、訪問介護が平成20年度に事業所数が減少しました。

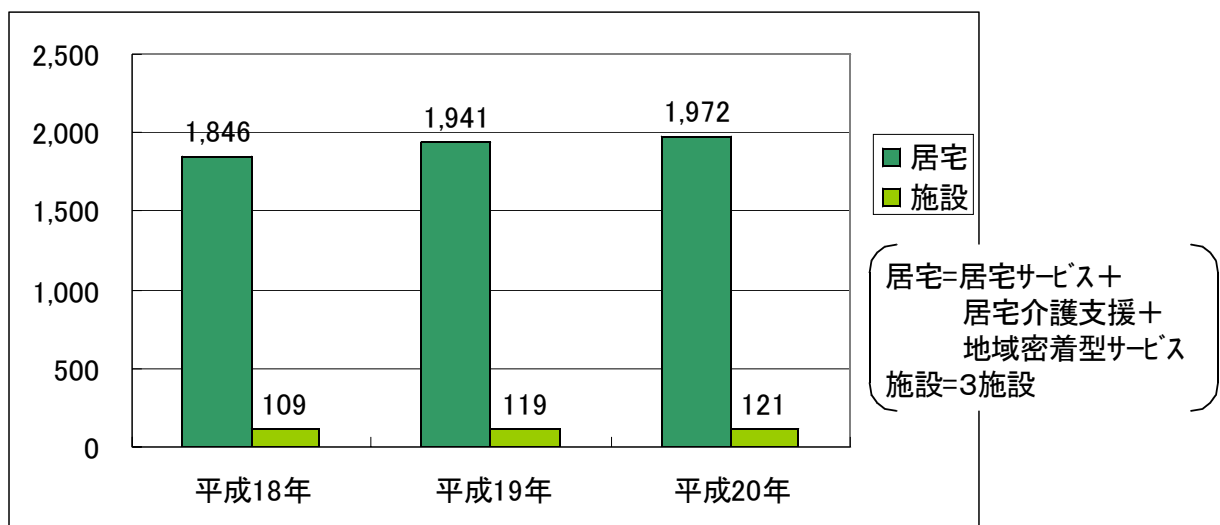
これは、サービス利用者数の減少等に伴う事業所の統廃合によるものと考えられます。

【介護サービス施設・事業所数の推移】

■施設サービス・居宅サービス・地域密着型サービス・居宅介護支援

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	(対18年度)
施設サービス	介護老人福祉施設	63	68	69	110%
	介護老人保健施設	31	36	38	123%
	介護療養型医療施設	15	15	14	93%
	計	109	119	121	111%
居宅サービス	訪問介護	459	481	467	102%
	訪問入浴介護	48	44	39	81%
	訪問看護	73	75	80	110%
	通所介護	218	238	268	123%
	通所リハビリテーション	61	67	73	120%
	短期入所生活介護	67	76	78	116%
	短期入所療養介護	47	52	53	113%
	特定施設入居者生活介護	15	30	31	207%
	福祉用具貸与	163	162	157	96%
	特定福祉用具販売	149	161	158	106%
計	1,300	1,386	1,404	108%	
地域密着型	夜間対応型訪問介護	0	1	1	皆増
	認知症対応型通所介護	18	19	22	122%
	小規模多機能型居宅介護	0	5	11	皆増
	認知症対応型共同生活介護	83	88	89	107%
計	101	113	123	122%	
居宅介護支援		445	442	445	100%
合計		1,955	2,060	2,093	107%

※ 各年度4月1日現在



■介護予防サービス・地域密着型介護予防サービス・介護予防支援

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	(対18年度)
介護 予防 サー ビス	訪問介護	433	469	457	106%
	訪問入浴介護	40	39	33	83%
	訪問看護	72	74	79	110%
	通所介護	209	235	262	125%
	通所リハビリテーション	61	68	74	121%
	短期入所生活介護	65	75	77	118%
	短期入所療養介護	44	51	52	118%
	特定施設入居者生活介護	15	30	31	207%
	福祉用具貸与	146	152	148	101%
	特定福祉用具販売	149	161	158	106%
	計	1,234	1,354	1,371	111%
地域密着型 介護予防 サービス	認知症対応型通所介護	18	19	22	122%
	小規模多機能型居宅介護	0	5	11	皆増
	認知症対応型共同生活介護	83	88	89	107%
	計	101	112	122	121%
介護予防支援		59	59	59	100%
合計		1,394	1,525	1,552	111%

※ 各年度4月1日現在



2. サービスを支える人材の養成・確保

(1) 高齢者保健福祉全般に係る人材

保健・医療・福祉（介護保険を含む）に関わる人材の確保状況は、下表のとおりです。

福祉関係や介護保険関係の人材の養成は、順調に増えていますが、とりわけ福祉関係及び介護保険関係職種の実態は、有効求人倍率が他の産業と比較して高く、入職率及び離職率も同時に高い状況にあり、また、今後さらに増加が見込まれる高齢者等の福祉や介護ニーズに対応するためにも、さらなる人員確保と質的な向上が必要です。

【保健・医療・福祉に係る人材の確保状況】

(単位：人)

		平成16年度	平成19年度	増加数	対16年増加率
福祉関係	社会福祉士	749	1,143	394	52.6%
	介護福祉士	4,444	7,139	2,695	60.6%
介護保険関係	介護支援専門員	3,647	4,832	1,185	32.5%
	訪問介護員	30,807	39,707	8,900	28.9%
保健・医療関係	医師	2,923	2,950	27	0.9%
	歯科医師	867	867	0	0.0%
	薬剤師	2,634	2,689	55	2.1%
	保健師	436	454	18	4.1%
	看護師	7,808	8,566	758	9.7%
	准看護師	3,112	3,124	12	0.4%
	歯科衛生士	901	1,014	113	12.5%
	理学療法士	304.3	393.2	88.9	29.2%
	作業療法士	125.4	183.7	58.3	46.5%
	言語聴覚士	52.9	98.3	45.4	85.8%

資料：社会福祉士、介護福祉士は、財団法人社会福祉振興・試験センター登録者数。

介護支援専門員は、介護支援専門員実務研修受講試験合格者数。

訪問介護員は、訪問介護員養成研修養成者数。

医師、歯科医師、薬剤師は、「医師、歯科医師、薬剤師調査」（厚生労働省）による人数。

なお、平成19年度は平成18年度調査の数値。

保健師、看護師、准看護師、歯科衛生士は、「特定医療業務従事者届出調査」（奈良県福祉部健康安全局医療管理課）による人数。なお、平成19年度は平成18年度調査の数値。

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士は、「病院報告」（厚生労働省（平成19年度））による人数。